



メール登録

祝 平成26年初山別村成人式

じよさんへ



平成26年 初山別村成人式 (1月4日 / 自然交流センター)

2014

2

NO.542

防災訓練の結果について

- 昨年12月18日に実施しました防災訓練について、関係機関や参加された皆様から寄せられた意見やアンケート結果を次のとおり取りまとめるとともに、皆様からの声を踏まえた今後の事務の進め方について整理をしましたので、お知らせします。

1 訓練における意見等

(1) 各関係機関の意見～後日聞き取り

区 分	項 目	内 容
各 学 校 (施設管理者)	訓 練 関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者確認は記名式ではなく、名簿を備えるべき。 また、避難所における要望事項は氏名確認とは別に行うべき。 ・避難所への経路や入口についての住民周知が充分ではなかった。 ・学校がこれまで行ってきた2次避難について、今後どうすべきかなど考え方を整理すべき。 ・初小の児童を初中に移動することについては、なお検討を要する。 ・初期段階において全体を把握し指示を行う人が明確でなかった。 ・高齢者など広く参加してもらうためには、秋頃の実施が妥当では。また、実際の状況に即した（リアルな）訓練とすべき。
	防 災 対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、乳幼児を連れた方などを優先する受入体制が必要では。 ・備蓄品の保管場所や点検体制について整理すべき。 ・浄水器の容量は限られており、配備数を増やすなどの対策が必要。
消 防 ・ 警 察 等	訓 練 関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に近い形で訓練を行うことが必要。 ・様々なシミュレーションで訓練を実施すべき。
	防 災 対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・IP告知放送（移動式）など、日頃より十分なテストが必要。 ・今後、消防団の地震・津波対策マニュアルを策定する予定であり、村との緊密な連携が不可欠である。

(2) 避難所運営に係る協議（防災訓練の中での協議～自治会、役場、学校等）

項 目	内 容
運営体制 について	<ul style="list-style-type: none"> ・班体制は避難所等の規模に応じ、小規模な体制も考えるべき。 ・班の役員は町内会役員に拘ることなく、実効的な人選にすべき。 ・災害時の対応を考慮し、役場職員が各地区に住むことも検討してはどうか。
防災訓練 について	<p>(防災スピーカーについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き逃しがないように、繰り返し流してほしい。 ・サイレン吹鳴後にアナウンスする方が効果的ではないか。 ・女性の声の方が通るのではないか。 ・テストするなど、定期的に音を出した方がよい。 ・電子サイレンは上部に回転灯を付け目視での確認も出来るようにしてはどうか。（農業用機械の使用時は全く聞こえないと思われる。） <p>(訓練全般について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難者の把握は名簿又は自治会の地図で行う方が効率的である。 ・今回のような訓練を1年に1回くらい実施すべき。

(3) アンケート結果について (回答数68件)

アンケート内容及び結果			備考
質問	回答	回答数	
1 防災スピーカーの放送内容は聞き取れましたか。	はい	16	放送を聞いた場所と結果に相関関係は認められない
	まあまあ聞こえた	9	
	聞こえなかった	39	
	スピーカーの放送を聞いた場所は。		
	自宅等 (建物の中)	40	
	屋外	11	
	その他 (車の中など)	2	
2 避難所の受け入れについての対応はいかがでしたか。	問題はなかった	53	
	改善すべき点がある		
	誘導が不十分	1	
	時間がかかった	2	
	氏名の記載を改める	4	
その他の意見等	名簿を備えるべき	2	
3 備蓄品や非常食についての意見	非常食は美味しかった	9	
	飲み物 (水以外) も備蓄すべき	3	
	(必要な備蓄品の意見) 毛布、段ボール、トレイ (配給用) 白飯、味噌汁 (フリーズドライ)		
4 防災対策についての意見・要望			
	<ul style="list-style-type: none"> 中学生のボランティアが素晴らしい (1) サイレンが聞こえなかった (1) 訓練は①定期的に行う②回数をこなす③この時期は避ける (各1) 		

2 防災対策について

- 前項の訓練における意見やアンケート結果を踏まえ、次のとおり事務を取り進めることとする。

区分	内容
「避難所運営マニュアル (仮)」の策定	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の班体制については、規模や状況に応じて変えられるよう数パターンを例示する。 班の役員は町内会役員を中心としながら、班運営の実効性を重視した対応を可能とする。
防災訓練について	<ul style="list-style-type: none"> 訓練については、より現実的で緊急性の高いテーマを選定するとともに、より多くの住民が参加出来るよう配慮する。 防災対策の熟度を上げることを考慮し定期的な実施に努める。
防災対策全般について	<ul style="list-style-type: none"> 避難者確認用の名簿を作成することとし、避難時の氏名の記載は行なわない (名簿は自治会の協力を得ながら作成する。) 備蓄品の配備については、住民の意見に配慮するとともに、配備計画の周知に努めることとする。 防災用屋外スピーカーは毎日定時チャイムを流すことにより、動作確認を行う。

1月のこんなことあんなこと

平成26年 初山別村成人式

新 成人の門出を祝う成人式が自然交流センターで開かれ、16名が出席しました。

式典では宮本村長の式辞の後、新成人一人一人が祝酒をうけ、三角京平さん、本堂明日架さんが「憲法に保障された権利のもと、その義務と責任を果たします。」と宣誓。木村議長の祝辞、祝電に続き、新成人を代表して長谷川絢大さんが「後輩達の模範となるよう努めますが、くじけそうになったときは叱咤激励してください。」と挨拶しました。(1月4日)



『宮本村長から祝酒』



『誓いの言葉』



『新成人あいさつ』

成人式該当者

- 記穂大祐海海哉香華平架哉伽成太弥
- 大美絢佳琴愛優綾瑠京明郁萌大孝慶
- 原村川見山山口影藤角堂田井木嶋畑
- 笠谷
- 小長舟高高榎山加三本上酒荒谷川

(敬称略)



平成26年 初山別村消防団《出初式》

村 消防団(鎌田健治団長)の出初式が自然交流センターで行われ、38名の団員が地域防災への決意を新たにしました。

式典では、人員報告、宮本村長、木村議長らによる閲団の後、団員に北海道知事表彰などの表彰状の伝達が行われ、最後に鎌田団長が「安全、安心して暮らせるまちづくりのために、郷土防災の任務にあたる」と謝辞を述べました。(1月7日)



消防団出初式表彰者名簿

- ▼北海道知事表彰
 - ・永年勤労章 小林 清秀
 - ・20年勤続 長坂 正一
 - ・10年勤続 岩田 誠一
- ▼北海道消防協会会長表彰
 - ・功績章 榎口 正憲
 - ・30年勤続 鎌田 健治
- ▼北留萌消防組合管理者表彰
 - ・30年勤続 立野 保治

(敬称略)

平成26年 新春書き初め大会

早

春より「書」に親しみ、新年を迎える喜びを新たにするとともに、「書」への理解と関心を深めることをテーマに、書き初め大会が開催され小学生13名、中学生4名が参加しました。参加した児童生徒たちは、文字のバランスを考えながら筆を走らせていました。(1月5日)



1 小学生低学年の部 課題～『うま』	
最優秀賞	江端 若菜 (初小2年)
優秀賞	大井 菜未 (初小1年)
	佐藤 楓季 (初小1年)
佳作	加納 侑和 (初小1年)
	増田 咲季菜 (初小2年)
2 小学生中学年の部 課題～『ふじ山』	
最優秀賞	小林 美夕菜 (初小3年)
優秀賞	大井 麻衣 (初小3年)
佳作	江端 桃香 (初小4年)
	杉森 青海 (初小4年)
3 小学生高学年の部 課題～『日本の春』	
最優秀賞	小林 健人 (初小5年)
優秀賞	長谷川 冬実 (初小5年)
佳作	大井 早世 (初小5年)
	小笠原 安里 (豊小6年)
4 中学生の部 課題～『希望の年』	
最優秀賞	横山 友里 (初中2年)
優秀賞	長谷川 栄人 (初中1年)
佳作	江端 栞里 (初中1年)
	宮崎 菜月 (初中1年)

平成25年度 村内子ども会 《かるた大会》

新

春恒例の子ども会かるた大会が開催され、小学生の部に3チーム、中学生の部に3チームが参戦しました。参加した選手たちは真剣な表情で木札に向かい熱戦を繰り広げました。優勝チームは次のとおりです。(1月11日)



かるた大会結果 (優勝のみ)

◆小学生の部

【有明チーム】

山本 紫 温 (6年)
佐藤 心 音 (5年)
江端 若 菜 (2年)

◆中学生の部

【有明チーム】

舟見 綾 香 (3年)
江端 栞 里 (1年)
武田 将 典 (3年)

おめでとうございます。

平成26年 初山別救難所 《出初式》

海

難救助活動の自主的活動組織である日本水難救済会初山別救難所が、新たな年の海難事故防止を誓いました。



式典では、宮本村長から訓示をうけ、加藤一裕所長が答辞を述べました。(1月7日)



海上安全祈願祭

村

内漁業関係者が参列し、今年1年の海上の安全を祈願する祭事が行われました。



祭儀では、神主からお祓いを受け、その後、一人ひとり神前に参拝し玉串をささげました。(1月11日)



初山別村功労者表彰式

昭

和63年3月から現在までの25年余りの永きにわたり、日本水難救済会初山別救難所所員として海難事故防止並びに救難活動に貢献された越前好裕さんに宮本村長から表彰状が手渡されました。

(1月17日)



初山別村納税貯蓄組合会議

村

内22の組合で構成される納税貯蓄組合の代表者が一堂に会し、村税の収納状況や税制の改正点などが説明され、それらに対する質疑や意見交換が行われました。

(1月9日)



ふれあい料理教室

《皮から手作り！ぎょうざ》

小

学3・4年生の親子を対象に料理教室が開催され、7組の親子が「ぎょうざ」「炊き込みご飯」「ポテトサラダ」の作りに挑戦しました。

講師には、食改善グループの岩井正子さんを招き、「ぎょうざ」を皮から手作りし、粉の分量を調節しながら生地を練り上げていました。自分で作る料理の楽しさを感じる教室となりました。

(1月14日)



● 1月のできごと ●

日(曜)	できごと
4(土)	村成人式
5(日)	新春書き初め大会
6(月)	村役場仕事始め ウインタースクール(～10日まで)
7(火)	村救難所出初式 村消防団出初式
9(木)	ふれあい陶芸教室
10(金)	村納税貯蓄組合会議 ヘルスアップ教室(初山別・豊岬地区)
11(土)	海上安全祈願祭 村内子ども会かるた大会
14(火)	ふれあい料理教室
15(水)	ほしっこくらぶ
17(金)	村功労者表彰式 ふれあい木工教室
19(日)	第34回中部3町村子ども会かるた大会
24(金)	ヘルスアップ教室(有明・初山別地区)
29(水)	ほしっこくらぶ会場開放日 租税教室
30(木)	村農業委員会総会
	スキー教室 14・15・21・22・29日

ふれあい陶芸教室

陶

芸に親しむ機会をつくろうと、小学1・2年生を対象とした陶芸教室に7組の親子が参加しました。今回が教室の2回目となり、1回目に制作したマグカップなどに薬液や色を塗りました。(1月9日)



ふれあい木工教室

実

習を通して基本的な木工具の使い方や木工技法を学ぶと同時に、木に触れ親しむことを目的として木工教室が開催され、



参加した7名の子どもたちは、のこぎりなどを使いブックケースを作製しました。(1月17日)



スキー教室

教

育委員会が主催するスキー教室に大勢の受講者が集まり、それぞれのレベルにわかれ、講師の指導を受けながらスキーの技術を学んでいました。(1月21日)



☆ほしっこくらぶ「1月号」

今

月の「ほしっこくらぶ」は、★じゅうあそびでした。(1月15日)



初参加 笠川斗愛ちゃん

次回、2月12日の「ほしっこくらぶ」は、☆じゅうあそび ☆よみきかせの予定です。楽しみにしていてくださいね。

管内中部3町村かるた大会

留

留管内中部3町村子ども会かるた大会が自然交流センターで開催され、中学生の部において、初山別Aチーム(江端直哉、舟見綾香、加藤航輝)が優勝し、2月23日に札幌市定山溪で行われる全道大会に出場します。(1月19日)

留管内中部3町村子ども会かるた大会



租税教室

初

山別小学校6年生を対象に租税教室が行われました。

留萌税務署山田健太さんを講師に、身近な話題を取り上げながら、税の大切さを伝えていきました。



(1月29日)

平成26年1月から、記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されました

平成26年1月からは、事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方について、記帳と帳簿書類の保存が必要となりました。

なお、この記帳と帳簿書類の保存制度につきましては、所得税の申告が必要ない方も対象となります。

詳細は、国税庁ホームページ

(<http://www.nta.go.jp>) をご覧いただくか、

留萌税務署(電話0164-42-0663)までお問い合わせください。

こんにちは 理学療法士です

健康寿命について

いつまでも健康に暮らしたいと思うのは誰もが思っていることです。平均寿命は0歳から亡くなるまでの生存期間のことをいいますが、健康寿命とは、ある一定レベル以上の健康状態で（健康上の問題で日常生活が制限されることなく）生活できる期間のことです。健康上の問題とは一般的には痴呆がない・日常生活に介護が必要と定義されることが多いようです。現在、平均寿命と健康寿命には十歳ほどの差があり、この差の期間が要介護状態で生活している期間となり、この期間をできるだけ短くすることが理

想です。

健康寿命を伸ばすには

健康寿命を短くする三大要因と言われているのが、脳卒中、認知症、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）加齢や生活習慣が原因で足腰の機能が衰えること）であり、若い頃からの食事や運動などの生活習慣の積み重ねで引き起こされます。健康寿命を伸ばすには、生活習慣の予防・改善は当然のことですが、今回は次の二点についてお話しします。

① 定期的、継続的に体を動かす

運動機能は年齢とともに低下していきませんが、加齢だけが原因でなく運動不足も含まれ、それらが相乗的に運動機能を低下させています。加齢による運動機能低下は避けられませんが、

運動不足による運動機能低下は運動トレーニングで治すことや予防が可能です。運動トレーニングは高齢だからといって手遅れということはなく、また、トレーニングをすればするだけの効果が望めます。特に、足腰の筋肉は低下しやすいので、ウォーキングなど、無理なく続けられる運動がおすすめです。

② 前向きな考え方、意欲を持つ

自分に対して前向きな考え方を持つている人は老化のスピードが遅いことが、最近の研究でわかってきています。歳を重ね、身体機能が低下してくると、どうしても後ろ向きに考えがちですが、身体機能が低下しても、つねに前向きに考えて生きていくことが何よりも大切です。前向きな考え

方や気持ちを持ち続けるには、自分の興味のあることや趣味を一生懸命に行うことです。新聞や本を読む、テレビを観る、スポーツ観戦や音楽鑑賞などでも構いません。自分の興味のあることや趣味を楽しむことが健康寿命をのばすことにつながります。

今は生活に不自由なく、高齢期はまだ先と考えている方も、健康なうちから日常生活を見直し、健康な生活習慣にしていくことが重要です。



（理学療法士 長谷川）

お知らせ

「米のトレーサビリティ法」をご存じですか？

生産者、流通業、米加工品製造、小売販売業、外食業等の各事業者で、米穀や米飯・米加工食品等を販売・提供する事業者の皆さんは、この法律に該当します。

1 取引記録の作成保存

米穀商品の仕入・出荷の際には、①品名 ②産地 ③数量 ④取引年月日 ⑤取引先 ⑥搬出入した場所を記録した帳簿か伝票類を3年間保存する必要があります。

2 産地情報の伝達方法

米穀商品の生産・販売事業者は、伝票類（納品書、請求書、領収書等）に産地情報を含む取引記録、もしくは米袋か商品で産地情報を伝達する

必要があります。

外食店、仕出し、弁当、宅配、出前等で米飯類を提供する事業者は、店舗において貼紙かメニューで産地伝達をお客様（消費者）にお知らせするか、宅配・出前等では伝票類やチラシ、はし袋等で産地伝達をする方法もあります。

詳細は、農林水産省HPまたは、北海道農政事務所旭川地域センター（TEL 0166-7611277）

多重債務・金融一般出張相談会（旭川会場）の実施について

北海道財務局では、借金返済の悩みを抱えている方からの相談を受け付け、専門の相談員が無料で親身になってお話を伺い、あなたに合った解決方法を提案しています。

また、預金・融資、保険、貸金、投資商品など金融商品・サービスに関するご質問

ご相談も受け付けています。

今般、次の日程で、「多重債務・金融一般出張相談会」を開催しますので、お気軽にご利用ください。

○日時：2月25日（火）

午前10時～午後5時

（相談受付は午後4時まで）

○会場：旭川地方合同庁舎

（住所：旭川市宮前通415

5番31）

○お問い合わせ先：北海道財務局 相談員直通

（午前9時～午後5時）

011-807-5144

又は

011-807-5145

○主催：北海道財務局

：旭川財務事務所

・秘密は厳守いたします。

・なお、当日お越しいただけない方につきましても、北海道財務局常設窓口においてご相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

多重債務者相談窓口

011-807-5144

金融ほっとライン

011-807-5145

中小企業等金融円滑化相談窓口

011-807-0177

国外財産調書制度について

居住者の方で、その年の12月31日において、5千万円を超える国外財産を有する方は、翌年の3月15日までに、その国外財産の種類、数量及び価額等を記載した「国外財産調書」を税務署へ提出することが義務付けられました。

法施行後、はじめての国外財産調書は、平成25年12月31日における国外財産の保有状況を記載して、平成26年3月17日（月）まで（3月15日が土曜日であるため）に提出していただくことになっております。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

(<http://www.nta.go.jp>)

青年国際交流事業に参加しませんか

内閣府では、日本と世界各国の青年との交流を通じて、相互理解と友好を深め、広い国際的視野とリーダーシップを身に付けた次代を担うにふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を実施しています。

日本代表青年として各国の選抜された青年と研修・交流を行い、自分を成長させてみませんか。

現在、平成26年度に実施する「東南アジア青年の船」(10月～12月)、「国際青年育成交流」(9月)、「日本・韓国青年親善交流」(9月)、「グローバルユースリーダー育成」(2～3月)、「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」(10月)の参加青年を募集しています。

詳細については、内閣府青年国際交流担当 (TEL 03-3581-1181、

<http://www.cao.go.jp/koryu/>) または北海道総合政策部知事室国際課 (TEL 011-204-5114) までお問い合わせください。

落水雪による事故防止

例年2月は、寒暖の差が大きくなり、氷のようになった屋根の雪が落ちて下敷きになつたり、屋根の雪下ろし作業中の転落や除雪機に巻き込まれるなどで尊い命を落とす事故が発生しています。

このような事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。

◇屋根の雪やつららを早め下ろしましょう

道路に面した屋根の雪やつららを常に点検し、早めに下ろしましょう。

また、雪下ろしするときには、見張りを置き、軒下の歩行者や遊んでいる子どもにも注意しましょう。

◇危険な軒下を歩かないよう

にしましょう

落水雪のおそれのある軒下などを歩かないようにしましょう。

また、建物を管理している方は、看板やロープなどで歩行者に注意を促すようにしましょう。

◇子ども達を落水雪の危険がある場所で遊ばせないようにしましょう

屋根などからの落水雪の危険がある場所では、子どもを遊ばせないようにするとともに、遊んでいるのを見かけたときには声を掛けて注意しましょう。

◇雪下ろしは転落防止用口テープ等を装着しましょう

雪下ろし作業中に雪とともに屋根から転落する事故が発生しています。雪下ろしをするときは、転落防止用のロープを確実に装着するなど転落防止の措置を講じましょう。

◇除雪機による除雪は安全を確かめながら行いましょう

除雪中に除雪機への巻き込

みや、下敷きになるなどの事故が発生しています。

除雪作業中は服装と周囲の安全を確認し、作業の中断やその場を離れるときはエンジンを停止するなど事故防止に注意しましょう。

振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の被害防止

特殊詐欺の被害に遭わないために

●突然、家族から「電話番号が変わった」「お金を用立てて欲しい」という電話が来たら、詐欺です。

●医療費等の過払金がATMで還付されることはありません。携帯電話を持ってATMに行くように指示されたら、詐欺です。

このような電話があつたら、一人で対応しないで、必ず家族や警察(警察相談専用電話#9110)に相談してください。(羽幌警察署)

北海道立羽幌病院からのお知らせ

【平成26年3月分 外来診療体制】

診療科	月		火		水		木		金		応援医師	受付時間等
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内科	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—		8:00~10:30
循環器内科	—	—	—	—	予約	—	—	—	—	—	留萌市立 高橋副院長(隔週) ※午前中のみ診療	8:00~10:30
呼吸器内科	—	—	—	—	—	—	—	—	○	予約	重原医師	8:00~10:30
消化器内科	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—		8:00~10:30
禁煙外来	—	—	—	—	—	—	—	—	—	予約		(診察は14:00から)
外科	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	7日は都合により休診です	8:00~10:30
整形外科	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	7日は都合により休診です	8:00~10:30
整形専門外来 (完全予約制)	①第2・4火曜日(11日・25日) 午前・午後 ②月2回木曜日(6日・20日) 午前・午後										①渡部整形外科 渡部院長 ②留萌市立病院より	
小児科	△	△	—	—	—	—	○	○	—	—	①旭川医大 井上講師 ②札幌医大 コドモックルより	8:00~11:00 13:00~15:00
婦人科	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	金野医師	8:00~11:00 13:30~15:00
ミルキー外来	—	—	予約	予約	—	—	—	—	—	—	(当院助産師)	(電話にて申し込み)
眼科	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	旭川医大より	8:00~11:00
皮膚科	月2回月曜日(3日・17日)午前中										札幌医大より	8:00~11:00
耳鼻咽喉科	第1・3水曜日(5日・19日)午前中のみ										札幌医大より	8:00~11:00
泌尿器科	第1・3木曜日(6日・20日)午前中のみ										札幌医大より	8:00~10:30
精神科	月1回(紹介患者のみ)										札幌医大 齋藤教授	

◎上記診療予定は変更となることもありますことをご了承ください。

1. 当分の間「一般内科の午後診療」は休止となっています。
2. 内科の予約の無い患者さまは9時からの診察となります。
3. コンタクトレンズの処方はありませんのでご了承ください。

お知らせ

- ★夜間・土日・祝日診療は緊急性のある重篤な患者さまに限らせていただきます。
- ★緊急性のない軽傷の患者様は、夜間・土日・祝日の受診は控えていただき、平日の診療時間内に受診されるようご協力願います。(なお、病状などでご心配なときや、受診を希望される場合は看護師がご相談を承りますので、まず電話でご相談ください。ご相談の内容によって医師と相談し、すぐに受診いただいたほうがよいか判断させていただきます。) 電話 0164-62-6060

ひとのうごき

～平成26年1月末～

人口と世帯数

人口 1,350人 (△2人)
 男 640人
 女 710人
 世帯数 595世帯 (±0世帯)
 ()は前月比

転入

12/12 佐藤 立之(共成)

お誕生

12/26 井上 輝(初山別)
 (父:佳彦 母:めぐみ)

1/3 五十嵐 遥(明里)
 (父:友 母:寛子)

おくやみ

12/12 尾田 芳藏 87歳(有明)
 12/25 久々湊昭儀 61歳(初山別)
 1/13 堀井 民治 94歳(初山別)
 1/16 谷嶋 和子 79歳(明里)

消費生活に関する相談は 消費者ホットラインへ

0570-064-370

平日は、北海道立消費生活センター、土日祝日は、国民生活センターにつながります。
 役場では、経済課水産商工係が窓口です。

一人で悩まず、まずは相談して下さい。

● 今月の主な行事予定 ●

(2/11~3/10)

月	日	行 事 等
2	11(火)	建国記念の日
	12(水)	広報しよさんべつ配布 (2月号) ほしっこくらぶ
	13(木)	
	14(金)	
	15(土)	
	16(日)	
	17(月)	
	18(火)	一般ごみ収集日 (有明・栄・豊岬・明里・共成地区)
	19(水)	
	20(木)	予防接種
3	21(金)	破碎・危険ごみ収集日 (初山別・千代田地区)
	22(土)	
	23(日)	スノーフェスタ
	24(月)	議会全員協議会 一般ごみ収集日 (初山別・千代田地区) 乳幼児健診
	25(火)	
	26(水)	広報配布 (お知らせ版)
	27(木)	
	28(金)	
	1(土)	
	2(日)	村民スキー大会
3	3(月)	
	4(火)	一般ごみ収集日 (有明・栄・豊岬・明里・共成地区)
	5(水)	村議会定例会
	6(木)	予防接種
	7(金)	
	8(土)	
	9(日)	
	10(月)	一般ごみ収集日 (初山別・千代田地区)

消防初山別支署からのお知らせ！

平成25年4月1日から

救急 出動する消防車両は、
道路交通法に則り緊急走行時
サイレンを吹鳴しています。

ご理解とご協力をお願いします

オロロン農業協同組合

初山別支所 様

鏡もちの寄贈

昨年末、オロロン農業協同組合初山別支所様から鏡もちを寄贈していただきました。

寄贈していただいた鏡もちは、お正月期間中、役場庁舎ロビーに供えさせていただきます。



「ありがとうございました」

気象台ひとロメモ

～なだれ(雪崩)について～

なだれには「表層なだれ」と「全層なだれ」があり、それぞれ発生する気象条件が異なります。表層なだれは、古い積雪面上に降り積もった新雪の層(新雪層)が滑り落ちる現象で、気温が低く降雪が続く1～2月の厳冬期に多く発生します。全層なだれは、気温の上昇や降水により融けた水で滑りやすくなった地表面上を積雪層全体が滑り落ちる現象で、春先の融雪期に多く発生します。

2月はまだ降雪も多く表層なだれに対する注意が必要な時期ですが、これからの季節は、南風が吹いて気温が上がったり雨が降ったりすると、全層なだれに対する注意も必要になってきます。

旭川地方気象台では、「24時間降雪の深さが30cm以上」又は「積雪の深さ50cm以上で日平均気温が5℃以上」が予想されたときに、なだれ注意報を発表し注意を呼びかけています。

旭川地方気象台ホームページアドレス
<http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/>
問合せ先／旭川地方気象台